

I 現代文 一般入試 C日程（3月6日実施）

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

本文省略

（山本夏彦『二流の愉しみ』より）

〔一〕 文章中——線アからウの漢字の読み方を、すべてひらがなで答えなさい。

ア 陳れば イ 排斥 ウ 調法

〔二〕 文章中の①・②・③に当てはまる言葉を、それぞれについて、次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア	そのうえ	イ	なぜなら	ウ	たとえば	エ	ために
オ	ところが	カ	たしかに	キ	では	ク	もし

〔三〕 文章中の「Ⅰ」・「Ⅱ」・「Ⅲ」に入る最も適当な言葉を、文章中の他の部分から探して、「Ⅰ」は漢字三文字で、「Ⅱ」・「Ⅲ」はそれぞれ漢字二文字で答えなさい。

〔四〕 次のアからオの文について、筆者の主張に合うものには○、異なるものには×をつけなさい。

- ア A老人の年賀状は、巻紙に毛筆で、真心のこもった内容が書かれている。こうした丁寧な年賀状が少なくなったことは残念である。
- イ 祝儀不祝儀の席では、頭の二つ二つさげておしまいにする。その方が、くどくど言うよりも気持ち伝わるものである。
- ウ 紋切型は、空々しくて、内容がなく、個性がないといわれるが、世の中は、紋切型で十分通用する。
- エ 内容があれば、表現は自然に生ずるものである。だから、まず、豊かな内容をもつことが重要である。
- オ 紋切型の表現を身につけ、そこに「実」を加えると、紋切型の表現が、効果的に相手に伝わるはずである。

〔五〕次に示す一段落が、本文中から欠落している。正しく挿入した場合、後に続く段落の最初の五文字を答えなさい。

お天気の話も古くならない。インテリは時候の挨拶に何の意味があろうと非難するが、人は意味ある話ばかりはしない。天気の話、野球の話、ゴルフの話——ほとんど内容のない話をするのは、犬が犬をかぎあうように、これによって相手の智力、体力、資力をさぐって本題へはいるためである。

Ⅱ 言語事項 一般入試 C日程(3月6日実施)

一 次の①から④までは、カタカナの箇所を漢字に、⑤から⑧までは傍線部をひらがなに直しなさい。なお、漢字及びひらがなは丁寧
書きなさい。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| ① 事件の <u>カク</u> シ <u>ン</u> | ⑤ 鏡に姿を映す。 |
| ② <u>ホウフ</u> を語る。 | ⑥ 時間を割く。 |
| ③ 考 <u>え</u> 方 <u>の</u> ソウイ | ⑦ <u>克己</u> 心 |
| ④ 利益の <u>ツイ</u> キユウ | ⑧ 相手を <u>凝視</u> する。 |

二 次の空欄にあてはまる漢字一文字を書き、ことわざを完成させなさい。

- ① ()の上にも三年
② 魚心あれば()心
③ 貧者の()灯
④ ()つ鳥あとを濁さず
⑤ 馬の耳に()仏

☐ ③ 次の①・②は、二文字の熟語である。①・②それぞれと同じ意味的構成をもつ二文字の熟語を、後のアからコの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

①「炎上」

②「曲線」

ア	船出
イ	公私
ウ	記述
エ	手足
オ	注意
カ	増設
キ	新人
ク	実行
ケ	不審
コ	作文

Ⅲ 古文 一般入試 C日程(3月6日実施)

次の古文を読んで、各問いに答えなさい。

本文省略

(『更級日記』より)

一 (ア)「東路」、(イ)「額」、(ウ)「九月」の読み方を、すべてひらがなで、現代仮名遣いで答えなさい。なお、(イ)、(ウ)は、それぞれ「ひたい」「くがつ」ではない読み方で答えなさい。

二 (I)「あんなる」は、次のように文法的に説明できる。空欄に適切な言葉を入れなさい。

ラ行変格活用動詞「ア」の連体形「ある」の撥音便「あんと」、伝聞の助動詞「イ」の連体形「なる」が結びついたもの。

〔三〕(①)から(③)の動作は、それぞれ誰の動作か。次のアからオの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア (奥つ方に)生ひ出でたる人 イ 姉、継母などやうの人々
ウ 光源氏 エ 薬師仏 オ いまたち

〔四〕問題の文章中に、「一箇所、」を付けることのできる部分がある。それはどこか。はじめと終わりの三文字(句読点を含まない)を書き抜きなさい。

〔五〕(Ⅱ)「その物語、かの物語」とあるが、問題の文章(『更級日記』)以前に書かれた物語を、次のアからオの中から二つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 平家物語 イ 源氏物語 ウ 竹取物語
エ 宇治拾遺物語 オ 曾我物語

〔六〕(Ⅲ)「門出して」とあるが、その時間帯は、いつ頃か。次のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 早朝 イ 昼間 ウ 夕方 エ 夜 オ 夜中

問題は以上です。